

沖縄県へのご旅行・ご出張を予定されている皆様へ

【2018年4月14日更新】

メディア等で連日報道されておりますように、現在沖縄県では広い範囲で麻疹（はしか）の流行が起っています。

麻疹（はしか）は非常に感染力も強く、感染した場合、風邪のような症状が続いた後、高熱と発疹等の症状を示し、免疫がない人が感染した場合重症化することがあります。しかし、ワクチンを必要回数接種していれば、麻疹に感染する可能性はワクチンを接種していない人と比べるとはるかに低くなります。以下の点を留意していただき、ご対応いただいた上で安心して沖縄県へお越しください。

※以下①～⑥に合致する方は麻疹風疹混合（MR）ワクチン接種をすることができませんのでご注意ください。

- ①明らかに発熱している人（通常 37.5℃以上）
- ②重篤な急性疾患にかかっている人
- ③過去に MR ワクチンに含まれている成分でアナフィラキシーをおこしたことがある人
（アナフィラキシーとは、通常、ワクチン接種後 30 分以内にあらわれるアレルギー反応で、汗がたくさん出る、顔が急に腫れる、全身にひどいじんましんが出る、吐き気や嘔吐、声が出にくい、息が苦しいなどの症状や、ショック状態になるような、はげしい全身反応がみられます。）
- ④明らかに免疫機能に異常がある人、免疫を抑える可能性がある治療を受けている人
- ⑤妊娠している人
（妊娠可能な人がこのワクチンの接種を受ける場合、接種後約 2 カ月間は避妊が必要です）
- ⑥上記以外に医師が予防接種を行うことが不適當な状態にあると判断した人

次のページに Q&A を掲載しますのでご参考にしてください。

Q1. 今の沖縄県の麻疹の流行状況はどうなっていますか？

A1. 沖縄県の医療機関、自治体、保健所、衛生環境研究所、県庁では全力で麻疹の患者さんの把握を行っています。最新の状況は以下のサイトをご覧ください。なお、情報は随時更新されておりますのでご注意ください。

沖縄県保健医療部衛生環境研究所：「麻しん（はしか）患者の発生状況について」

<http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/measles.html>

Q2. これから沖縄へ行く予定ですが、どうしたらいいですか？

A2. まず、ワクチン接種歴をご確認ください。1歳で1回、小学校入学前1年間の方以上の方は2回接種歴があれば問題なく旅行できます。もし回数が足りない場合はワクチン接種をご検討ください。

Q3. ワクチンを接種して沖縄に行きます！3日後出発ですが間に合いますか？

A3. ぜひ接種してからお越しください。ただし、ワクチンの効果を最大限に発揮させるにはワクチン接種後2週間経過してから来ていただくことが好ましいです。また、ワクチン接種後1週間程度経過した時期に（特に1回目の接種の際に）ワクチンの影響で軽度の発熱や発疹を認めることがあります。そのため、早めのワクチン接種をよろしくお願いいたします。

Q4. 1歳未満の子供を連れていきたいのですが・・・

A4. 定期接種では、基本的に1歳未満のお子様へはMRワクチンは接種しておりません。沖縄県内では、現在、期間限定で住民に対して生後6か月から12カ月未満の乳児へ予防接種を実施していますが、麻疹流行を受けての緊急避難的な対応です。旅行でお越しになる小さいお子様にも沖縄県の素晴らしさを体験していただきたいのですが、現在の麻疹の流行が終息した後、来ていただくことが安心です。

どうしても沖縄に行く必要がある場合はかかりつけ医、または専門医にご相談ください。

Q5. 大人でも注意したほうがいいのですか？

A6. 成人でもこれまでに麻疹にかかっていない、あるいはワクチンを接種していなければかかってしまいます。発熱、発疹に加え、肺炎や脳炎などを合併し重症化する場合があります。子供よりも重症化しやすいとも言われており十分注意が必要です。

麻疹に関する詳しい情報は以下をご参照ください

沖縄県小児保健協会 はしか“0”プロジェクト 「はしかってなあに？」

<http://www.osh.or.jp/hashikazero/what/index.html>

Q6. 自分自身が高齢で、麻疹にかかったか、ワクチンを打ったかわからないのですが…？

A6. 概ね50歳以上の年齢、特に、ご高齢の方は、ワクチンがなかった時代に麻疹にかかっていると考えられていますので、基本的には麻疹にはかかりません。現在の沖縄県の流行では20代から40代のワクチン未接種の方がたくさん麻疹にかかっています。

Q7. 妊婦と一緒に行って大丈夫でしょうか？

A7. 妊娠中にはしかにかかると、「早産」や「流産」のリスクが高くなります。また、妊娠中は赤ちゃんへの影響を避けるため、MRワクチンを接種することができません。このため、2回のワクチン接種を完了できていない妊婦の方については、沖縄県の流行が終息してからお越しいただいた方が安全です。里帰りや出産等を含め、どうしても沖縄に行く必要がある妊婦の方については、かかりつけの産科医にご相談ください。

Q8. 人込みを避ければ麻疹にはかかりませんか？

A8. 麻疹の感染力は極めて強く、典型的な麻疹の患者さんからは空気感染し、同じ空間にいたり、すれ違ったりするだけでも感染する可能性があります。麻疹が流行している地域では、麻疹の患者さんが人混みに紛れていることも考えられ、むやみに人混みに入ることは麻疹に感染するリスクを高めてしまいます。人混みを避けることのみで、麻疹への感染を予防できるわけではありませんが、感染するリスクのある方々は、できるだけ人混みを避けるようにしてください。

リンク集

- 麻しん（はしか）について

国立感染症研究所ホームページ

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>

- 沖縄県小児保健協会 はしか“0”プロジェクト 「はしかってなあに？」

<http://www.osh.or.jp/hashikazero/what/index.html>

- 沖縄県の麻しん患者発生状況：地域保健課

<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/chiikihoken/index.html>

● 沖縄県で流行している麻疹についての注意喚起（国立国際医療センター）

<https://www.dcc-ncgm.info/resource/>

● 沖縄への渡航に関する相談

沖縄県文化観光スポーツ部

観光振興課 TEL: 098-866-2764,

メール aa057137@pref.okinawa.lg.jp

沖縄県保健医療部地域保健課